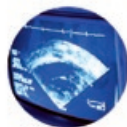


# 株主通信

Vol. **17** | 2011年3月期 決算のご報告  
2010年4月1日～2011年3月31日

## New Innovative Wave

「これからの医療」のために。



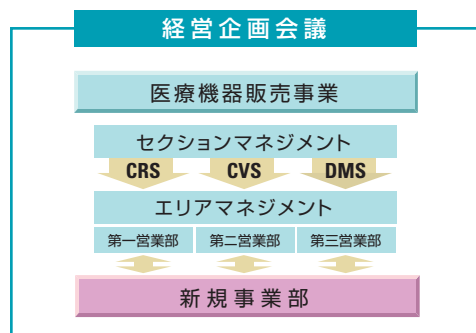
株式会社 ウィン・インターナショナル

**JASDAQ** 証券コード: 2744

# Profile

私たちは、  
新しい医療周辺  
ビジネスの構築を  
目指す会社です。

私たちウイン・インターナショナルの存在意義は、  
医療分野において優れた商品及びサービスを、  
従来にない方法で安定的に提供することにより、  
医療分野の発展に継続的に寄与し、  
国民の健康及び医療に貢献していくことです。



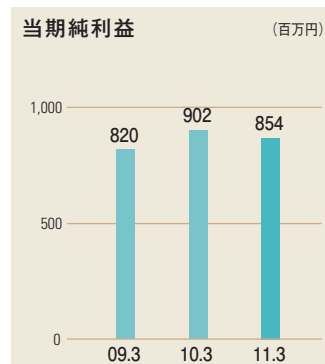
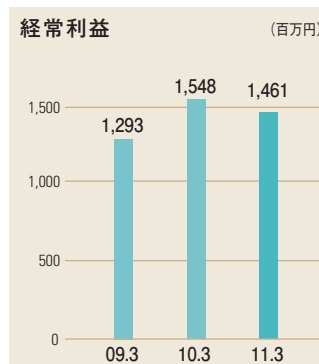
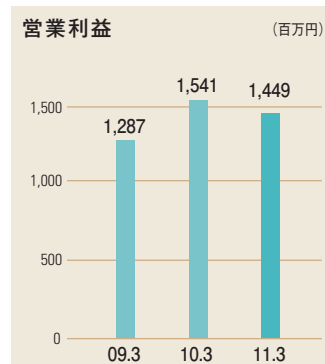
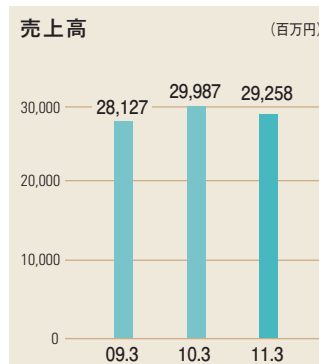
経営企画会議を情報共有の基点として、当社の主力事業である消耗品関連の医療機器販売事業は、担当エリアの特性に合わせて機動的な営業を行うためのエリアマネジメント(第一営業部から第三営業部)と専門分野における営業活動を柔軟に行うためのセクションマネジメント(心臓律動関連のCRS、心臓血管外科関連のCVS、糖尿病関連のDMS)で推進しております。新規事業部は医療機関の開業・運営の総合的サポート、大型医療機器販売を行っており、各営業部との連携を図って案件獲得を目指しております。

## ● 財務ハイライト

(百万円)

	2009/3	2010/3	2011/3
売上高	28,127	29,987	29,258
営業利益	1,287	1,541	1,449
経常利益	1,293	1,548	1,461
当期純利益	820	902	854
総資産	13,641	15,091	14,728
純資産	5,433	6,161	6,674
自己資本比率(%)	39.8	40.8	45.3
1株当たり当期純利益(円)	65.20※	73.34	69.41
1株当たり期末配当金(円)	16.4※	26.0	25.0

※当社は、2009年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式を分割しております。  
2009/3の「1株当たり当期純利益」「1株当たり期末配当金」の数値はさかのぼって算出したものです。



# 第28期は、着実に計画を達成。 高付加価値の営業活動で第29期も さらなる成長へ。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、この度の東日本大震災により被災されました皆様には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く復旧・復興されますようお祈り申し上げます。

さて、ここに第28期(2011年3月期)株主通信をお届けいたします。

第28期は、厚生労働省による2年に一度の診療報酬の改定年となっており、薬品・医療機器等の保険償還価格が引き下げられた影響で、厳しい事業環境でのスタートとなりました。

そうした中でも、医療機関との取引を拡大し、おかげさまで、第28期は売上高292億58百万円、営業利益14億49百万円、当期純利益8億54百万円となり、計画を達成いたしました。第29期も積極的に事業活動を展開して、さらなる成長を目指してまいります。

株主の皆様にはなお一層のご支援をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

### 第28期の事業環境及び業績とその評価について お聞かせください。

第28期は償還価格の改定があり、当社の取扱商品の販売価格は低下しました。このような状況のもと、成長分野として期待しているCRS(心臓律動管理セクション)、CVS(心臓血管外科セクション)の売上が伸長し、また、当社主力分野のPCI(経皮的冠動脈形成術)は新商品の上市によるメーカー間の競争激化により仕入交渉やリベートプログラムの条件が当社に有利に働き、利益面に貢献いたしました。その結果、今期の計画を着実に達成いたしました。



株式会社ウイン・インターナショナル 代表取締役社長 秋沢 英海

### 診療報酬及び償還価格改定による商品販売価格の低下に対して、どのような対応策を取られましたか。

販売については、当社の主要分野であるPCIでデバイスの進化等により顧客医療機関の症例数が増加傾向にあることから、積極的に商品情報や症例適用情報を紹介し、新たな営業提案を行うことで、販売数量を増加させることに注力いたしました。

さらに、下期にグループ病院や大手病院を新規顧客として獲得いたしました。また顧客医療機関の経営陣に対して診療圏調査に基づく患者数増加策や、損益分岐／投資回収まで踏まえた設備投資等の総合的な営業提案を行うことで顧客医療機関との協力体制を強化し、数量と価格のバランスの中で売上高の増加を図りました。

一方、仕入においては、レポートプログラムや商品の一括購入で対象商品を増やすとともに、規模も拡大しました。

当社は顧客医療機関、メーカーと強い信頼関係を築き、ともに発展することが重要であると考えており、それぞれのニーズを読み取りながら、当社から三者にメリットのある提案を積極的に行いました。

今後は、仕入・販売価格の交渉においてもその効果が期待されます。

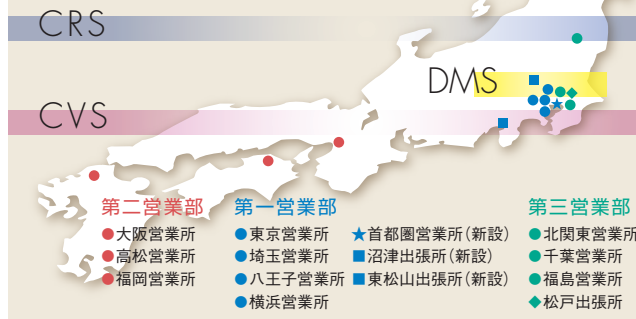
### 拠点整備の進捗状況とその狙いをお聞かせください。

第28期は沼津出張所の開設、千葉営業所の拡大移転を行いました。第29期4月には東松山出張所を開設、東京営業所を二分化（東京営業所・首都圏営業所）しております。

拠点整備の目的は顧客医療機関に密着した営業活動を効率よく展開できる体制の構築です。拠点については症例が集中する首都圏を強化し、太平洋側を中心に拡大していく方針です。また、今後、特に首都圏においては急速な高齢化が予想されております。

当社の顧客医療機関において、PCI症例患者を年齢別に見た場合、65歳以上の患者数は全体の7割超を占めるというデータがございます。高齢化に伴い循環器疾患の患者数の増加が予想され、基幹病院には患者が集中し、医療機関の高度専門化が求められます。

### 当社の営業所・出張所



当社はこれらを踏まえ、患者様、医療機関を支える体制を構築してまいります。

### 第29期4月に組織変更をされましたが、その内容と目指すところをお聞かせください。

当社ではこれまで、経営企画会議に並立する形でICC(内部統制システム再構築委員会)とISC(情報セキュリティ委員会)が組織され、システム構築・運用や社内啓蒙等を行ってきました。これら2つの委員会により一定の成果を得られたため、次のフェーズへ移行すべき時期と判断しました。

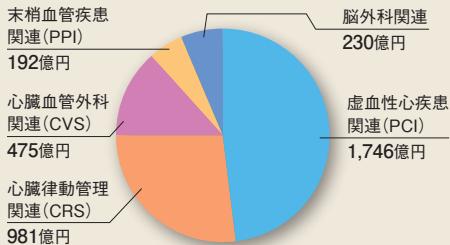
ICCとISCを統合して「内部統制委員会」に改称し、今後は経営企画会議に並立する組織として牽制機能を維持しつつ、社内ルールの見直しや業務プロセスの改善を行い、「牽制」と「効率」の合理的な融合を進めてまいります。

### 来期(第29期)はどのような取り組みに注力されますか。

当社が強みとする心臓を中心とした循環器領域では、CRS、CVSの営業を強化します。CRSではICD(植込み型除細動器)、CRTD(両心室ペースキング機能付植込み型除細動器)、アブレーション(心筋焼灼術)用カテーテルやEP(電気生理検査)用カテーテルの販売が増加傾向にあり、CVSではステントグラフトが高い

## 当社を取り巻く医療機器業界のマーケットの現状

ターゲット市場は約**3,700億円**



市場伸長率は  
平均**4.2%**

【参考】市場規模の推移  
 2005年 約3,100億円  
 2006年 約3,200億円  
 2007年 約3,400億円  
 2008年 約3,400億円  
 2009年 約3,700億円

出典：株式会社アールアンドディ「医療機器・用品年鑑2010年版」

伸び率で販売数量が増加しております。第29期もCRS、CVSの人員を強化し、循環器領域の深耕、拡大を図ります。

また、DMS(糖尿病セクション)は、第28期において関東圏のインスリンポンプの販売体制を構築しました。これまで取引のなかったグループ病院や大手病院との取引も始まり、第29期はこれらの取引の拡大を図ります。

### 東日本大震災による被害・影響などはありましたか。また、どのような対応を取られましたか。

この度の震災において当社の従業員に被害はなく、事業所の設備においても大きな被害はありませんでした。

当社では震災直後に本社内に経営危機対策本部を設置し、対応にあたりました。震災復興の義援金として3千万円を送り、被災した顧客医療機関や提携企業に対しては、飲料水や食料品等の救援物資を届けるなど、支援活動を行いました。

また、震災発生後の事象を踏まえて、BCP(Business Continuity Plan=事業継続計画)の見直しを行っております。

### 人材の採用・育成の考え方や今後の採用計画などをお聞かせください。

当社では、優れた人材を確保するために採用活動に注力しております。第29期4月には10名の新卒者が入社いたしました。また、

第29期も新卒者・中途者ともに積極的な採用を行う予定です。

当社が求めるのは、生命や医療に携わる仕事をしたいという志を持ち、医療機器販売会社の果たす役割と意義を理解している人材です。そして、優れた人材をさらに成長させるための教育体系、研修プログラムの構築に取り組んでいます。医療に携わる人間として専門知識やスキルを備えるだけでなく、高いモラルも兼ね備えることを重視しています。

当社は、今後も“企業は人なり”を念頭に、従業員とともに企業の成長を図ってまいりたいと考えております。

### 来期(第29期)の市場環境や業績見通しについてお聞かせください。

第28期末に発生した東日本大震災が、東北・関東地域のみならず日本経済に多大な影響を及ぼしており、第29期の市場環境や業績を予測することは非常に難しい状況です。

当社の第29期事業への震災の影響についても不透明な部分が多くありますが、現時点で想定される要素を考慮した上で、増収増益計画いたしました。

また、震災による影響が長期にわたって続くことを想定し、当社では今後、中長期的な戦略や経営計画についても十分検討してまいります。

### 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

当社では前期より配当性向35%以上を基本方針としておりますので、第28期の期末配当金は1株当たり25円とさせていただきます。

第29期も着実に業績を伸長させ、必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元にも努めてまいります。株主の皆様には今後一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



### 貸借対照表(要旨)

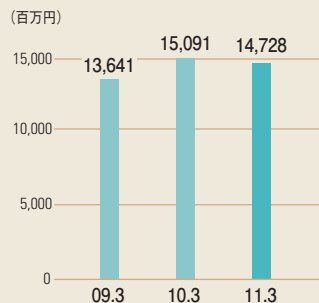
(単位：千円)

期別	当期末 2011年3月31日現在	前期末 2010年3月31日現在	増減 (△印は減)
<b>資産の部</b>			
流動資産	13,026,934	13,380,441	△353,506
現金及び預金	4,026,709	3,933,410	
受取手形	1,268,539	1,179,176	
売掛金	6,678,470	7,098,234	
商品	778,127	916,548	
繰延税金資産	79,034	82,888	
その他	196,303	170,521	
貸倒引当金	△250	△340	
固定資産	1,701,727	1,710,874	△9,147
(有形固定資産)	1,168,387	1,104,809	
建物	498,058	498,180	
土地	742,444	742,444	
減価償却累計額	△400,355	△368,168	
その他	328,240	232,353	
(無形固定資産)	95,677	128,584	
(投資その他の資産)	437,662	477,480	
投資有価証券	252,306	317,967	
出資金	150	150	
敷金及び保証金	81,235	77,027	
保険積立金	52,625	48,733	
繰延税金資産	50,878	32,808	
その他	465	794	
資産合計	14,728,661	15,091,316	△362,654

(単位：千円)

期別	当期末 2011年3月31日現在	前期末 2010年3月31日現在	増減 (△印は減)
<b>負債の部</b>			
流動負債	7,848,875	8,660,492	△811,617
支払手形	2,001,779	2,408,874	
買掛金	5,233,898	5,540,906	
1年以内返済予定の長期借入金	72,600	79,200	
未払法人税等	286,671	377,564	
賞与引当金	107,125	100,679	
その他	146,801	153,267	
固定負債	205,701	269,249	△63,547
長期借入金	41,000	113,600	
退職給付引当金	163,701	154,649	
その他	1,000	1,000	
負債合計	8,054,576	8,929,741	△875,165
<b>純資産の部</b>			
株主資本	6,644,168	6,110,199	533,969
資本金	330,625	330,625	
資本剰余金	196,875	196,875	
資本準備金	196,875	196,875	
利益剰余金	6,116,870	5,582,749	
利益準備金	17,500	17,500	
その他利益剰余金	6,099,370	5,565,249	
自己株式	△202	△50	
評価・換算差額等	29,916	51,374	△21,458
純資産合計	6,674,085	6,161,574	512,510
負債純資産合計	14,728,661	15,091,316	△362,654

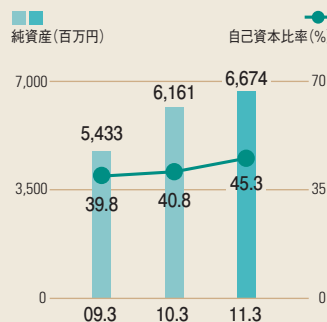
## 総資産



## ▶ POINT

総資産は、前期末と比較して362百万円減少して、14,728百万円となりました。これは、前期末と比較して当期末には工事案件や大型医療機器の案件が少なかったこと等により売掛金が419百万円減少したこと等によるものであります。

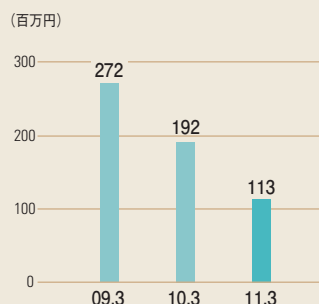
## 純資産／自己資本比率



## ▶ POINT

純資産は、前期末と比較して512百万円増加して、6,674百万円となりました。これは、当期純利益により854百万円増加する一方、前期の配当金の支払により319百万円減少したこと等によるものであります。

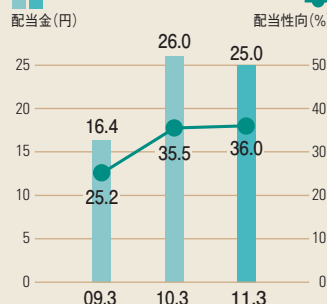
## 有利子負債



## ▶ POINT

前期に引き続き、有利子負債の約定返済を進めた結果、期末借入金は79百万円減少しております。

## 配当金／配当性向



## ▶ POINT

将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主各位に対して適正な利益還元を行うため、配当性向を35%以上とすることを基本方針としております。上記方針のもと、当期(2011年3月期)の期末配当(年間)につきましては、1株当たり25円(配当性向36.0%)とする配当を実施しております。

※当社は、2009年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式を分割しております。09.3の「配当金」の数値はさかのぼって算出したものです。

## IR活動



## 個人投資家向け会社説明会を開催しています。

当社では、個人投資家の皆様の当社に対するご理解・ご支援をいただくために、『個人投資家向け会社説明会』を積極的に開催しております。詳しくは <http://www.win-int.co.jp/> をご覧ください。

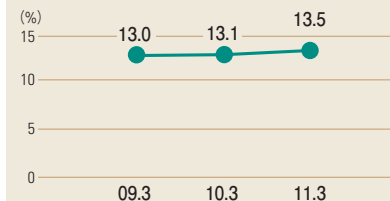
- 開催スケジュール等はIRカレンダーをご覧ください。
- 直近に開催された「個人投資家向け会社説明会」の資料を掲載しています。

### 損益計算書(要旨)

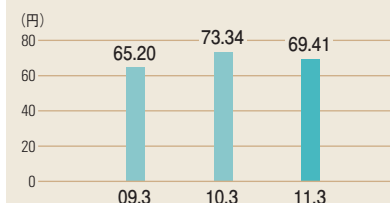
(単位:千円)

期別	当期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	前期 2009年4月1日から 2010年3月31日まで	増減 (△印は減)
売上高	29,258,841	29,987,165	△728,324
売上原価	25,322,643	26,044,282	
売上総利益	3,936,197	3,942,883	
販売費及び一般管理費	2,486,510	2,401,784	
営業利益	1,449,687	1,541,098	△91,410
営業外収益	14,280	12,127	
営業外費用	2,948	4,607	
経常利益	1,461,019	1,548,618	△87,599
特別利益	5,603	—	
特別損失	3,626	—	
税引前当期純利益	1,462,996	1,548,618	△85,622
法人税、住民税及び事業税	608,484	655,008	
法人税等調整額	505	△8,687	
当期純利益	854,006	902,297	△48,290

### 売上総利益率



### 1株当たり当期純利益

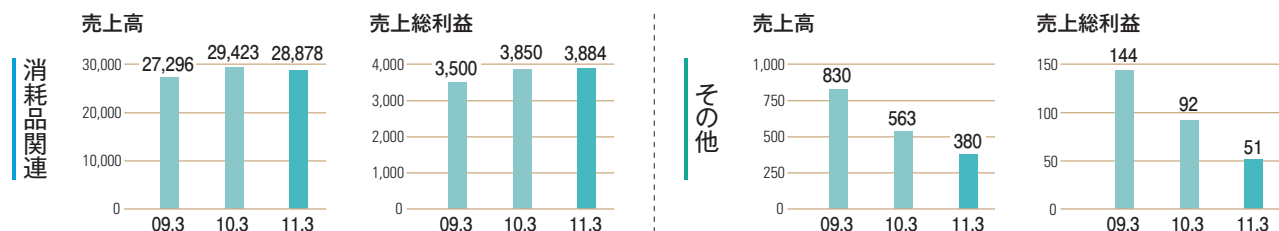


※当社は、2009年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式を分割しております。  
09.3の「1株当たり当期純利益」の数値はさかのぼって算出したものです。

### POINT

会社全体の売上高は29,258百万円(前期比2.4%減少)、経常利益は1,461百万円(前期比5.7%減少)、当期純利益は854百万円(前期比5.4%減少)となりました。

### 区分別売上高・売上総利益 (単位:百万円)





## キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

期別	当期	前期	増減 (△印は減)
	2010年4月1日から 2011年3月31日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	616,405	1,707,479	△1,091,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,868	△116,703	△7,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△399,237	△281,026	△118,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額	93,299	1,309,749	△1,216,449
現金及び現金同等物の期首残高	3,933,410	2,623,661	1,309,749
現金及び現金同等物の期末残高	4,026,709	3,933,410	93,299

### POINT

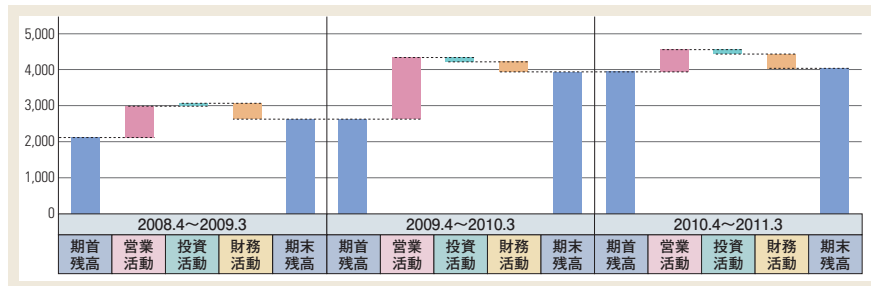
営業活動によるキャッシュ・フローは、比較的支払サイトの長い仕入先からの仕入が減少したことや仕入コストの削減を目的として主要仕入先の支払サイトを短縮したこと等により、純粋な営業活動において得られた収入が1,322百万円(前期は2,351百万円の収入)ある一方、法人税等を711百万円支払ったこと(前期は647百万円の支払)等により、616百万円の収入(前期は1,707百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却により34百万円の収入(前期はありません)があったことや有形固定資産取得のため125百万円の支出(前期は25百万円の支出)があったこと等により、123百万円の支出(前期は116百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金を319百万円支払ったこと(前期は201百万円の支払)や長期借入金を79百万円返済したこと(前期は79百万円の返済)等により、399百万円の支出(前期は281百万円の支出)となりました。

## グラフで見るキャッシュ・フローの推移

(単位:百万円)



IRサイトの  
ご案内

当社のさらに詳しい情報についてはHPをご覧ください。

<http://www.win-int.co.jp/>

■ お問い合わせ先 総務部 / 03-5688-0878

ウイン・インターナショナルのホームページはIR・財務情報に加え、皆様に当社の事業内容をより深くご理解いただけるよう最新ニュースや事業案内を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



### ● 会社概要 (2011年3月31日現在)

社名	株式会社ウイン・インターナショナル
英文社名	WIN INTERNATIONAL CO., LTD.
事業内容	医療機器販売事業
本社	東京都台東区台東四丁目24番8号
主な拠点	東京、千葉、埼玉、神奈川、福島、大阪、香川、福岡
設立年月日	1983年6月1日
資本金	330,625千円
従業員数	251名

### ● 株式の状況 (2011年3月31日現在)

発行可能株式総数	47,000,000株
発行済株式の総数	12,303,400株
大株主(上位11名)	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
秋沢 英海	4,106,300	33.38
ピーピーエイチフォーファイテリティーロープライズストックファンド 常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行	800,071	6.50
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	6.50
Xロバンクエヌエートリーテイククライアントオムニバス 常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行	430,229	3.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	400,000	3.25
古川 國久	400,000	3.25
日本生命保険相互会社	250,000	2.03
三田上 浩美	203,400	1.65
第一生命保険株式会社	200,000	1.63
鴛田 金光	200,000	1.63
伊藤 成幸	200,000	1.63

(注) 持株比率は自己株式(348株)を控除して計算しております。

株主数	2,627名
上場金融商品取引所	大阪証券取引所(JASDAQ市場)(証券コード: 2744)
IRのお問い合わせ先	総務部 / TEL 03-5688-0878
URL	<a href="http://www.win-int.co.jp/">http://www.win-int.co.jp/</a>

### ● 取締役、監査役、会計監査人 (2011年6月28日現在)

代表取締役社長	秋沢 英海
取締役	三田上 浩美
取締役	村田 裕可
取締役	杉原 庸介
常勤監査役	卜部 容志孝
監査役	神田 安積
監査役	菊地 康夫
補欠監査役	大友 良浩
会計監査人	有限責任あずさ監査法人

### ● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	期末配当金 3月31日
公告方法	電子公告 URL <a href="http://www.win-int.co.jp/koukoku/index.html">http://www.win-int.co.jp/koukoku/index.html</a> ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株式に関するお申出先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711(通話料無料) (同取次窓口) 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

※株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。

## 株主通信 Vol.16の アンケート結果

アンケート調査に多くの回答と  
温かいメッセージをいただき、  
ありがとうございました。  
アンケートの結果を下記に  
掲載させていただきますので  
ご参照ください。

### あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。

(複数回答/%)



### あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

(%)



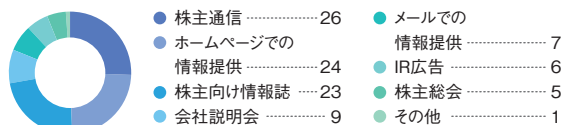
### あなたが当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。

(複数回答/%)



### あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。

(複数回答/%)



※小数第一位を四捨五入しておりますので、割合を合計したときに100%にならない場合がございます。

今後も株主の皆様からのご意見には真摯に耳を傾け、  
当社ビジネスを一層発展させるための糧とさせていただきます。

## 株主の皆様へのアンケートのお願い

当社では、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、  
アンケートを実施させていただいております。

なお、従来のハガキによるご回答に加えてインターネットからも  
ご回答いただけます。

お手数ではございますが、ご協力の程、よろしく願いいたします。

インターネットをご利用いただけない株主様は、  
こちらのハガキをご利用ください。

該当する項目の番号に○を付けてください。  
特に指定のないもの以外は「1つだけ」お選びください。

問1 あなたが投資先を検討する際、よく利用する情報源をお知らせください。(3つまで)

- ①新聞 ②会社四季報・日経会社情報 ③経済誌・投資情報誌 ④アナリストレポート  
⑤証券会社の営業員 ⑥一般株式情報サイトやメールマガジン ⑦企業のホームページ  
⑧会社説明会 ⑨その他

問2 あなたは当社の株式を購入する際、社名をどこでお知りになりましたか。

- ①TV・新聞・雑誌など ②インターネット ③会社四季報・日経会社情報 ④アナリストレポート  
⑤証券会社の紹介 ⑥知人の紹介 ⑦以前から知っていた ⑧その他

問3 あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。(いくつでも)

- ①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針  
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り  
⑫証券会社の勧め ⑬その他

問4 あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

- ①買い増し ②長期保有 ③売却 ④未定

問5 あなたが当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。  
(3つまで)

- ①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針  
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り  
⑫株主優待 ⑬その他

問6 あなたは当社のIR活動に満足していますか。

- ①満足している ②普通 ③不満である

問7 あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。(いくつでも)

- ①ホームページでの情報提供 ②メールでの情報提供 ③会社説明会 ④株主総会  
⑤株主通信 ⑥株主向け情報誌 ⑦IR広告 ⑧その他

問8 当社の株主通信について、情報量はいかがですか。

- ①多すぎる ②ちょうど良い ③少なすぎる

問9 当社の株主通信について、わかりやすさはいかがですか。

- ①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい

問10 当社の株主通信について、読みやすさはいかがですか。

- ①読みやすい ②普通 ③読みにくい

その他ご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

# アンケートはインターネットから ご回答いただけます。

インターネットをご利用いただけない株主様は、  
こちらのハガキをご利用ください。



差出有効期間  
平成23年9月  
30日まで  
切手はいりません

東京都台東区台東四丁目24番8号

株式会社ウイン・インターナショナル  
総務部 行

郵便はがき

1 1 0 8 7 9 0

220



性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 29歳以下 <input type="checkbox"/> 30~39歳 <input type="checkbox"/> 40~49歳 <input type="checkbox"/> 50~59歳 <input type="checkbox"/> 60~69歳 <input type="checkbox"/> 70歳以上
お住まいの都道府県	
ご職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 公務員・非営利団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト・フリーター <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職・定年退職 <input type="checkbox"/> その他
株式投資歴	<input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1~2年未満 <input type="checkbox"/> 2~5年未満 <input type="checkbox"/> 5~10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上

キ  
リ  
ト  
リ  
線

株主様向け  
アンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 2744

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト  
内にある検索窓に、いいかぶと  
4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い  
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本誌が  
お手元に到着してから約2ヶ月  
間です。

インターネットでご回答いただいた方  
の中から抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」  
サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細  
<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用さ  
せていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



株式会社 ウイン・インターナショナル

〒110-8558 東京都台東区台東四丁目24番8号

TEL.03-5688-0878

<http://www.win-int.co.jp/>



本誌は、環境に優しい植物油  
インキを使用して印刷しています。